

## 新規作物(白ネギ、トマト等)の試験栽培

## 状況

## 島根県 美郷町 都賀行地区

地区概要: 農地面積57.53ha(うち耕作放棄地3.45ha)

荒廃の理由: 農業者の高齢化

荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。農業機械・重機による作業が必要

全体調査の区分: 緑



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 56a(水田)

実施期間: 再生作業:平成21年8月5日～平成22年2月10日

栽培実証:平成22年3月18日～平成23年3月10日

取組のきっかけ: 地域活性化の起爆剤として、野菜の実証ほ場を設置し、栽培から販売を実証する。また、県道沿いで景観に配慮が必要な場所であることや地元企業により取組が図られるので事業効果が高いと判断した。

また、町内の転作のうち自己保全管理が多いため、露地栽培においても、白ネギ、トウモロコシなど多品目を栽培して実証することにより、自己保全管理解消に向けた資料用データ等を得る。

調整経緯: 民家の前の土地が荒れていた場所を、取組主体の代表が見つけた直接交渉した。

取組主体: ふじ野農園

取組作物: 白ネギ、トマト、スイートコーン、インゲン、スイカ等

作業内容: 雑草の刈り払い、整地、土壌改良、鳥獣害防護柵、ハウス2棟設置、定植

実証状況: ハウスでトマト4a、露地で春植えの白ネギ3a、スイートコーン10a、インゲン3a、スイカ4a等を栽培中。

出荷先: 農協、道の駅、地元商店

## 今後の予定

白ネギ、トマト、ハウレンソウ等の栽培を継続する。農地は15年間の利用権設定としている。

## 再生状況



再生作業中(抜根)



豆類等栽培中



葉菜等栽培中



再生作業後



ネギ栽培中



ハウス内のトマト

現状

# 異なる栽培管理による飼料作物の生育比較

## 状況

### 島根県 美郷町 栢谷地区

地区概要: 農地面積45.43ha(耕作放棄地面積は調査中)  
 荒廃の理由: 労働力不足  
 荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。農業機械・重機による作業が必要  
 全体調査の区分: 緑



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 490a(畑)  
 実施期間: 再生作業:平成21年8月5日～平成21年10月9日  
 栽培実証:平成21年10月23日～平成23年3月10日  
 取組のきっかけ: 取組主体は40～50頭の牛を飼養しており、これまで田で飼料作物を生産していたが、燃料・資材高騰の影響を受け、外国産飼料に頼らない自給飼料を地元で生産することにより、経費の削減及び安全な飼料で飼育管理ができることを目指していた。  
 当該耕作放棄地は、近年まで近隣の牧場が飼料作物を栽培していたが、牛の肥育の方に注力したため労働力が回らず、荒れていた。  
 調整経緯: 取組主体が自給飼料栽培のための大規模な土地を探しており、役場が地権者との間に入って調整した。  
 取組主体: 個人農業者  
 取組作物: 飼料作物  
 作業内容: 雑草の刈り払い、樹木の伐採、整地、土壌改良(堆肥散布)、牧草播種  
 実証状況: 平成21年10月牧草播種、平成22年3月追肥、5月中旬刈り取り・ロール巻、6月播種、8月中旬刈り取り・ロール巻、9月追肥。  
 出荷先: 自給飼料

## 今後の予定

初回は一律に施肥を行ったが、本年度からほ場毎に施肥量を変える等、いろいろな方法で栽培を行う。農地は6年間の利用権設定としている。

## 再生状況



再生作業中(整地)



牧草栽培中



牧草栽培中



再生作業後



牧草栽培中



牧草栽培中

現状